

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日

上場会社名 セガサミーホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6460 URL <https://www.segasammy.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長グループCEO (氏名) 里見 治紀
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員財務経理本部長 (氏名) 大脇 洋一 (TEL) 03-6864-2400
 四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	349,924	28.7	54,445	42.4	57,296	42.7	35,327	7.6
2023年3月期第3四半期	271,979	14.9	38,222	17.0	40,138	20.2	32,846	11.5

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 40,100百万円 (15.3%) 2023年3月期第3四半期 34,773百万円 (8.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	160.32	159.41
2023年3月期第3四半期	148.76	148.08

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	615,671	347,737	56.2
2023年3月期	501,566	331,347	66.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 346,309百万円 2023年3月期 330,854百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.00	—	39.00	59.00
2024年3月期	—	23.00	—		
2024年3月期(予想)				24.00	47.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	463,000	18.8	51,000	9.0	53,500	8.1	28,000	△39.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	241,229,476株	2023年3月期	241,229,476株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	25,213,591株	2023年3月期	20,476,041株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	220,352,407株	2023年3月期3Q	220,801,887株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、2024年2月9日に機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算プレゼンテーション資料については事前にT D n e t 及び当社ホームページに掲載するほか、決算説明会の模様及び説明内容(映像並びに音声)については、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前年同期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	271,979	349,924	77,945	28.7
営業利益	38,222	54,445	16,222	42.4
経常利益	40,138	57,296	17,157	42.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	32,846	35,327	2,480	7.6
	円	円	円	%
1株当たり四半期純利益	148.76	160.32	11.56	7.8

エンタテインメントコンテンツ業界におきましては、コンシューマ分野におきまして、インフレ等による経済環境の悪化から、欧米を中心とした市場の拡大は踊り場を迎えております。また、ゲーム開発コストの上昇が続いており、こうした事業環境の変化への対応が急務となっております。一方で、サービス提供形態の多様化により、デバイス・プラットフォームを問わず、全世界に向けてより長期にわたってコンテンツ・サービスを届ける環境が整ったことから、ゲーム市場の成長に対する期待は継続しています。アミューズメント機器市場におきましては、コロナ禍からの経済再開により市場の回復が進んでいます。引き続き円安に起因した原材料価格高騰の影響があるものの、プライズカテゴリーの好調は継続し、全体としては好調に推移しております。

遊技機業界におきましては、パチスロ機が牽引する形で良好な市場環境が継続しております。パチスロ機においては、当グループの『スマスロ北斗の拳』をはじめ、スマートパチスロを中心に話題性のある機種が継続して登場していることから、高い稼働水準を維持しております。パチンコ機においては、稼働水準は引き続き低調に推移しておりますが、足元ではヒット機種が登場しております。また、2023年4月よりスマートパチンコの導入が開始されたほか、規制の見直し傾向が続いていること等から、今後のヒット機種登場による稼働回復が期待されます。

リゾート業界におきましては、国内において、新型コロナウイルス感染症の分類見直しにより各種行動制限が緩和され、社会経済活動の正常化の動きが進んだことにより、旅行需要には引き続き回復傾向が見られました。インバウンドについては、日本への直行便の回復や円安等が追い風となり、「訪日外国人消費動向調査」では、2023年暦年の訪日外国人旅行消費額が過去最高となる等、今後も訪日外国人の更なる増加に伴い、旅行需要や宿泊需要を中心とした経済効果が期待されております。

このような経営環境のもと、当第3四半期連結累計期間における売上高は349,924百万円（前年同期比28.7%増）、営業利益は54,445百万円（前年同期比42.4%増）、経常利益は57,296百万円（前年同期比42.7%増）、また、欧州各拠点開発のタイトルポートフォリオの見直し等に伴う事業再編損など特別損失を11,718百万円計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は35,327百万円（前年同期比7.6%増）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

《エンタテインメントコンテンツ事業》

	前年同期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	210,451	219,316	8,864	4.2
セグメント間売上高	231	246	—	—
売上高合計	210,683	219,562	8,879	4.2
経常利益	41,581	19,736	△21,845	△52.5

コンシューマ分野のフルゲームにおいては、新作タイトルとして『ソニックスーパースターズ』、『龍が如く7 外伝 名を消した男』、『ペルソナ5 タクティカ』等を販売し、販売本数は527万本（前年同期は697万本）となりました。また、リピータイトル販売本数は1,383万本（前年同期は1,377万本）となりました。これらの結果として、フルゲームの販売本数は全体で1,910万本（前年同期は2,075万本）となりました。F2Pにおいては、『プロジェクトセカイ カラフルステージ! feat. 初音ミク』及び、開発は株式会社セガ、パブリッシャーは株式会社バンダイナムコエンターテインメントが担う『ONE PIECE バウンティラッシュ』が牽引しました。

アミューズメント機器分野におきましては、UFOキャッチャー® シリーズやプライズ等を中心に販売いたしました。

映像・玩具分野におきましては、映像において、映像制作や配信に伴う収入等を計上し、玩具において、第1四半期に発売した『ヘッドセットではいしん?! カメラもIN! マウスできせかえ! すみっこぐらしパソコンMYLIVE』や定番製品を販売いたしました。

以上の結果、売上高は219,316百万円（前年同期比4.2%増）、経常利益は19,736百万円（前年同期比52.5%減）となりました。

《遊技機事業》

	前年同期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	52,194	120,217	68,022	130.3
セグメント間売上高	357	620	—	—
売上高合計	52,552	120,837	68,285	129.9
経常利益	7,359	45,726	38,367	521.3

パチスロ機におきましては、『パチスロ交響詩篇エウレカセブン HI-EVOLUTION ZERO TYPE-ART』等の販売に加え、前期発売した『パチスロ甲鉄城のカバネリ』や第1四半期に発売した『スマスロ北斗の拳』の追加販売を行い、163千台の販売（前年同期は63千台の販売）となりました。パチンコ機におきましては『P真・北斗無双 第4章 下剋上闘』等の販売を行い、74千台の販売（前年同期は49千台の販売）となりました。

以上の結果、売上高は120,217百万円（前年同期比130.3%増）、経常利益は45,726百万円（前年同期比521.3%増）となりました。

《リゾート事業》

	前年同期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	8,703	9,295	592	6.8
セグメント間売上高	62	18	—	—
売上高合計	8,765	9,314	548	6.3
経常利益	△2,806	705	3,512	—

リゾート事業におきましては、『フェニックス・シーガイア・リゾート』において、個人客はアウトバウンドの再開や高単価販売の影響により施設利用者数が想定を下回って推移したものの、法人イベントや大型MICE等を開催し、コロナ禍で低調に推移していた団体客の回復が進みました。

海外におきましては、PARADISE SEGASAMMY Co., Ltd.（当社持分法適用関連会社）が運営する『パラダイスシティ』において、カジノでの日本人VIP客のドロップ額（チップ購入額）が新型コロナウイルス感染症拡大前を超える水準を引き続き維持しており、好調に推移いたしました。

※PARADISE SEGASAMMY Co., Ltd. は12月決算のため3ヶ月遅れで計上

以上の結果、売上高は9,295百万円（前年同期比6.8%増）、経常利益は705百万円（前年同期は経常損失2,806百万円）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月8日に公表した通期連結業績予想を修正いたしました。詳細については、2024年2月9日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	179,509	169,726
受取手形、売掛金及び契約資産	53,370	59,819
有価証券	—	23,912
商品及び製品	18,503	14,521
仕掛品	50,689	53,062
原材料及び貯蔵品	20,269	21,290
その他	31,826	34,643
貸倒引当金	△304	△606
流動資産合計	353,862	376,368
固定資産		
有形固定資産		
土地	18,581	18,618
その他（純額）	41,901	42,551
有形固定資産合計	60,482	61,170
無形固定資産		
のれん	2,592	69,787
その他	10,654	9,733
無形固定資産合計	13,247	79,521
投資その他の資産		
投資有価証券	39,538	50,157
その他	34,818	48,834
貸倒引当金	△383	△380
投資その他の資産合計	73,973	98,611
固定資産合計	147,703	239,303
資産合計	501,566	615,671

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,556	26,156
短期借入金	17,000	117,485
未払法人税等	4,776	8,568
賞与引当金	9,689	6,209
その他の引当金	1,375	1,049
資産除去債務	—	1
その他	56,934	56,428
流動負債合計	120,332	215,898
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	25,000	25,006
解体費用引当金	420	420
その他の引当金	—	12
退職給付に係る負債	3,877	4,606
資産除去債務	2,607	2,644
その他	7,981	9,346
固定負債合計	49,886	52,036
負債合計	170,218	267,934
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,953	29,953
資本剰余金	72,213	71,183
利益剰余金	261,840	283,480
自己株式	△37,251	△47,148
株主資本合計	326,755	337,468
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,626	2,405
繰延ヘッジ損益	382	△5
土地再評価差額金	△1,109	△1,109
為替換算調整勘定	3,730	9,219
退職給付に係る調整累計額	△1,531	△1,668
その他の包括利益累計額合計	4,099	8,841
新株予約権	468	682
非支配株主持分	24	745
純資産合計	331,347	347,737
負債純資産合計	501,566	615,671

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	271,979	349,924
売上原価	155,835	196,769
売上総利益	116,143	153,155
販売費及び一般管理費	77,920	98,709
営業利益	38,222	54,445
営業外収益		
受取利息	204	1,258
受取配当金	515	108
持分法による投資利益	—	2,261
投資事業組合運用益	1,610	950
為替差益	1,526	—
その他	542	916
営業外収益合計	4,399	5,495
営業外費用		
支払利息	230	435
持分法による投資損失	1,140	—
支払手数料	111	340
投資事業組合運用損	560	618
為替差損	—	906
その他	441	343
営業外費用合計	2,483	2,644
経常利益	40,138	57,296
特別利益		
固定資産売却益	3	0
投資有価証券売却益	—	317
事業譲渡益	—	155
その他	—	0
特別利益合計	3	473
特別損失		
固定資産売却損	0	1
減損損失	181	149
関係会社株式売却損	96	49
事業再編損	—	11,239
火災損失	60	—
その他	7	278
特別損失合計	345	11,718
税金等調整前四半期純利益	39,796	46,051
法人税、住民税及び事業税	7,219	10,007
法人税等調整額	△271	669
法人税等合計	6,947	10,676
四半期純利益	32,849	35,374
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	32,846	35,327
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	47

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△325	△221
為替換算調整勘定	844	3,599
退職給付に係る調整額	△26	△148
持分法適用会社に対する持分相当額	1,432	1,494
その他の包括利益合計	1,923	4,725
四半期包括利益	34,773	40,100
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,774	40,070
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	30

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額
	エンタテインメント コンテンツ事業	遊技機事業	リゾート事業			
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	210,451	52,194	8,703	271,349	629	271,979
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	231	357	62	651	△651	—
計	210,683	52,552	8,765	272,001	△22	271,979
セグメント利益又は損失(△)	41,581	7,359	△2,806	46,134	△5,995	40,138

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△5,995百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,997百万円が含まれております。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額
	エンタテインメント コンテンツ事業	遊技機事業	リゾート事業			
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	219,316	120,217	9,295	348,829	1,094	349,924
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	246	620	18	885	△885	—
計	219,562	120,837	9,314	349,714	209	349,924
セグメント利益又は損失(△)	19,736	45,726	705	66,168	△8,872	57,296

(注) 1 外部顧客に対する売上高の調整額1,094百万円は、報告セグメントに帰属しない事業に係る売上高であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△8,872百万円には、報告セグメントに帰属しない事業に係る損失△697百万円、セグメント間取引消去1百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△8,176百万円が含まれております。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益と調整を行っております。